

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 8日

事業所名 ロイヤルスクエア牧野

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	勉強スペースと自由な空間が、キッチンと分けられている。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	職員は適切に配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	事業所内の床はほぼフラットである。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	日々のミーティングと定期的な研修を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	定期的に保護者の方向けに安家とを実施し、ニーズの把握に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	自社ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	社内の研修はもちろん、社外の研修にも積極的な参加を促している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	スタッフ全員が参加し、日々のご利用者の情報を共有し、計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	会社所定のアセスメントシートを利用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	スタッフ全員が参加し、分担してプログラムを立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	常にアンテナを張り、新しいプログラムの導入に努めている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	ご利用時間に合わせて、適切な支援を心がけている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	ご利用者様に合わせて、適切な支援を心がけている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日、午前中などの時間を利用し、支援内容の打合せを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	毎日、送迎後の時間を利用し、支援内容の打合せを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎日、日々の記録の徹底を行い、検証や改善に繋げている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	ご利用者ごとに定期的なモニタリングと支援計画の見直しを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	100%	0%	5領域を含む総合的な支援の提供を心がけている。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	主に児童発達支援管理責任者が積極的に会議に参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	できる限り、学校との情報共有に努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	医療ケアが必要な児童には、主治医と連携している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	外部との積極的な情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	外部との積極的な情報共有に努めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	外部との積極的な情報共有に努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	主に児童発達支援管理責任者が積極的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	保護者の方との情報共有に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	保護者の方へも積極的に支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	面談時などに、できる限り丁寧な説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	積極的に保護者の悩みにも寄り添い、支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	保護者会開催など交流の機会を企画している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情について、できる限り迅速で丁寧な対応を心がけている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月に一度の「通信」発行など、できるだけ密な情報発信を心がけている。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報の取扱いに十分注意し、定期的に研修啓蒙を行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	ご利用者ごとに対応した配慮を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	地域のイベントにも積極的に参加している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	各マニュアルを玄関に設置し、保護者にも周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	定期的に研修や訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	定期的に研修や会議を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	29%	71%	定期的に研修や会議を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギーのご利用者には十分な配慮を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	常にヒヤリハットを記録し、研修などで共有している。